

# 令和5年度 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会

## 令和5年度取組報告と 令和6年度以降の取組予定

---

- 令和5年度は、「流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保」などに取り組んでいる。
- 今後も関係機関と連携を図り、取り組みを継続していく。

## ● 主な取組内容(R5年度)

### ○流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保

浜松市内の学校24校について校庭貯留の整備を進めており、5年度では整備工事を実施し、4校の校庭貯留施設を整備。



### ○水災害リスク情報空白域の解消

浜松市管理の2級河川(5河川)について浸水想定区域図を作成し、市防災マップ上で一般公開(R5.5)することで水災害リスク情報の空白域解消を図った。

### ○AIを活用したSNS上に投稿された被害上表の集約システムの導入

災害時に市民からの電話や関係機関からのポイント的な情報だけでなく、広域のリアルタイムの情報を入手して災害対応に活かすため、SNS上に投稿された被害情報を収集して集約する「SNS情報集約システム」を導入した。



### ○自主防災隊の風水害時の行動を記したアクションカードを作成、一斉連絡の体制構築

風水害時における自主防災隊の初期対応をまとめたアクションカードを作成、配布。また、災害時における自主防災隊への情報提供や情報収集を実施するため、メールにより一斉連絡を行う体制を構築した。



※R5年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	災害対応に伴い避難判断マニュアルの検証実施	○ 避難判断マニュアルの検証を行い必要に応じ見直しを行う。
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	災害対応に伴いタイムライン等の検証実施	○ 関係課等と連携して必要に応じタイムラインの見直しを行う。
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成、訓練実施の呼び掛け実施	○ 避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施を呼び掛ける。
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	出前講座の実施	○ 「浜松市防災マップ」を活用した出前講座を開催し水害リスク情報の共有を図る。
	■ 自主防災体制の強化	風水害時の自主防災隊の活動を記したアクションカードを配布	○ 風水害時における自主防災隊の初期対応についてまとめたアクションカードを作成し、配布。
	■ 水災害教育の充実	防災ノートの配付、出前講座の実施	○ 小中学校における総合学習講座や浜松市防災学習センターで開催する講座などにおいて水災害教育に努める。
	■ 避難行動を促す取組	市ホームページ等による情報提供の実施	○ 市ホームページ等を活用し雨量や水位に係る情報や緊急避難場所の開設状況等を発信する。
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	防災ホットとメールやLINE等による避難情報の配信	○ 浜松市防災ホットとメールやLINE等を活用し避難に資する情報を発信する。
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団水防演習(台風中止)、重要水防箇所合同巡視の実施	○ 水防演習等の実施による水防団との連携、水防活動に活用する資材の充実を検討する。
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水資器材の情報把握	○ 地域(消防や建設会社)が有するポンプ等の情報把握に努める。
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	九領川河川整備、校庭貯留施設の整備	○ 河川整備計画や浜松市総合雨水対策計画に基づく九領川等の改修を推進する。
	■ 河川における機能の確保	市管理河川の河床掘削の実施	○ 市管理河川について巡視、点検により状況を把握し、支障がある箇所については河床掘削等を実施する。
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	河川巡視・点検を実施	○ 河川改修等に合わせた堤防天端舗装を実施する。
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水位計、量水計の設置検討、水防倉庫整備方針の策定	○ 水位計や量水標の設置の検討や水防倉庫の整備を実施する。
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	流域治水協議会にて台風等の浸水被害の検証、対策検討	○ ダム管理者と流域治水協議会において協議・確認する。
■ 被害対象を減少させる対策	災害リスク評価分析の実施	○ 立地適正化計画において防災対策・安全確保策の記載を検討する。	

●令和6年度の取組予定

■ 流域治水の推進

貯留施設整備による流出抑制対策  
・浸水リスクが高い重点エリアの小中学校24校を対象に進めてきた貯留施設整備を引き続き、関係機関と連携を図りながら実施する予定。

■ 河川機能の確保

・市が管理する河川について、堆積土砂や河道内樹木が流下能力の阻害となっている箇所について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保する。

■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施を推進し、避難確保計画及び訓練実施報告の提出を求める。

■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組

・「浜松市防災マップ」等を活用した出前講座を開催し、水害リスク情報の共有を図る。

- 「防災シンポジウム」を開催し、昨今の気候変動に対応していくための基調講演と、令和4年台風第15号の経験を様々な立場から振り返るパネルディスカッションを地域住民とともに実施した。
- 国土交通省の実証実験モデル地区として、市内10カ所に浸水センサを設置した。
- SNS集約システムを導入し、災害情報の早期把握に努めた。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○「防災シンポジウム」の開催

令和5年8月に防災アナウンサー奥村氏を講師に招き、「気候危機時代を生き抜く防災新常識」をテーマとした基調講演と、令和4年台風第15号の経験を地域住民が参加しディスカッションし、互助の重要性を再認識する機会となった。



### ○SNS集約システムの導入

投稿されたSNS情報を検知し、様々な被害状況等を迅速に集約できるシステムを導入し、災害情報の早期把握に努めた。



### ○浸水センサの設置

道路冠水、内水氾濫の早期把握により、的確な避難情報の発令につなげるため、国土交通省が行う実証実験に参加し、浸水センサを市内10カ所に設置した。



●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定			対象外		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度～	令和5年度	令和6年度	令和7年度～	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難判断マニュアルの確認、SNS集約システムの導入	避難情報の判断・伝達マニュアルの随時見直し 等							
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	危機管理ヒアリングを実施行動計画の検証を実施	適宜タイムラインの更新、検証 等							
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	新規事業者への説明を実施	避難確保計画に基づく避難訓練の実施の呼びかけ 等							
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	内水浸水想定区域図作成検討	想定最大規模降雨の内水浸水想定区域図作成検討・準備 等							
	■ 自主防災体制の強化	令和5年4月見直し実施	適宜自主防災会長の手引きの見直しを行い情報提供を行う 等							
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施・シンポジウムの開催	小中学校及び市民向けの講座の開催							
	■ 避難行動を促す取組	風水害、土砂災害マイタイムライン作成講座の実施	風水害、土砂災害のマイタイムライン作成講座開催 等							
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	転入者への防災ファイルの配布を実施及び出前講座の実施	転入者への防災ファイルの配布及び出前講座等での周知啓発活動の実施 等							
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	天竜川重要水防箇所合同巡視に参加	水防演習(水防訓練)の見直し							
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	自主防災会可搬式ポンプ購入	消防本部、消防団、自主防災会の保有するポンプについて見直しを行う							
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	天竜川下流域協議会等において、検討・協議・確認を行う								
	■ 河川における機能の確保	市管理河川の河道掘削を実施	河道内の砂堆積箇所や河道内樹木の状況を把握し関係機関と情報共有し、必要に応じて対応する							
	■ 施設能力を上回る洪水への対応									
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	浸水センサーの設置	効果的な浸水センサ運用方法の検討							
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	天竜川下流域治水協議会で協議・確認する									
■ 被害対象を減少させる対策	同報無線電話応答サービスの実施	問合せに対して、電話や窓口対応により情報提供を継続する								

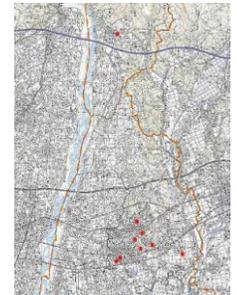
●令和6年度取組予定

■水防演習(水防訓練)の見直し

従来の会場型の水防演習(水防訓練)から、住民の避難行動が伴うよう、実践的な訓練となるよう水防演習(水防訓練)のあり方を消防団等と意見を交換し、見直しを実施する。

■浸水センサの増設と運用方法の研究

10か所に設置した浸水センサを増設するとともに、その効果が最大限発揮できるよう関係機関と連携し、運用方法を研究する。



- 出前講座、防災リーダー養成講座等を継続的に実施し、地域防災力の向上を図る水災害教育に取り組んでいる。
- 防災メール・防災ラジオ等を活用した災害情報の取得を市民に周知し、円滑で確実な避難に資する情報発信に取り組んでいる。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○防災リーダー養成講座(初級編、上級編)を実施

令和4年6月、9月、10月、11月に地域防災力の向上を目的として、水害の発生原因や情報の収集、避難のタイミング等の講座を実施。



### ○水防訓練を実施

令和4年6月に自主防災会、建設業組合、水防団、消防本部が協働し、出水時の防災体制の確認と水防工法技術の習得を実施。



### ○流域一体型タイムライン策定に向けた読み合わせ訓練を実施

国・県・掛川市の参加による読み合わせ訓練を令和4年11月に実施。  
フェーズごとに防災行動及び関係機関間の連携行動、役割分担等を確認。



### ○河道内堆積土砂の浚渫を実施

普通河川坊主淵川(大淵地内)ほか5河川の浚渫工事を実施。



着工前



完成後

普通河川坊主淵川の浚渫状況

### ●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	取組実績	取組予定	対象外
		令和6年度	令和7年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習訓練の実施	ホットライン・洪水対応演習等情報伝達訓練の実施、発令基準を適宜見直し等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	対応行動整理表に関する勉強会実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	高齢者福祉施設の避難確保計画の更新 作成率は100%	施設管理者への防災情報等の提供、研修会を適宜実施等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図(掛川市防災ガイドブック)の更新・配布	洪水浸水想定区域図(掛川市防災ガイドブック)の更新・配布、広域避難体制の検討等	
	■ 自主防災体制の強化	出前講座の開催	防災情報の提供、活動の支援、出前講座の開催等	
	■ 水災害教育の充実	出前講座・防災リーダー養成講座の開催	出前講座・防災リーダー養成講座の開催等	
	■ 避難行動を促す取組	掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン(家庭の避難計画・デジタル版)の推進	掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン(家庭の避難計画・デジタル版)の推進、出前講座の開催等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線(防災ラジオ)・災害メール等の活用	同報無線(防災ラジオ)・災害メール等の活用等	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	重要水防箇所合同巡視に参加 水防訓練の実施	国主催の重要水防箇所合同巡視に参加、水防訓練の実施等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	ポンプ数の情報を把握・整備等		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	総合治水計画の策定	ため池や水田など流域の貯水機能の保全、確保などの流出抑制対策の推進、田んぼダム拡大に向けた検討等	
	■ 河川における機能の確保	河川改良	地元要望などにより把握した河道内土砂堆積箇所、樹木の状況を随時報告、樋門・樋管等、市管理施設の情報共有等	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	土のうステーション設置の補助	小河川の水位センサーによる水位情報提供、各地区に土のうステーション設置の促進・補助等	
■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策	水田貯留について検証・拡大等			

### ●令和6年度の取組予定

#### ■水災害教育の充実

地域の自主防災組織を対象に、防災知識と救助技術等を身につけた防災リーダーを養成し、「地域で守る」共助(近助)の力、地域防災力の向上を目的として防災リーダー養成講座を開催。水害の発生原因や、情報の収集、避難のタイミング等を学習。



防災リーダー養成講座

#### ■避難行動を促す取組

掛川市防災ガイドブックを使用し浸水実績等の周知、マイ・タイムライン(家庭の避難計画およびデジタル版家庭の避難計画)を推進し水害リスクに対する理解促進に取り組む。



- 令和4年度は「消防団(水防団)員への水防工法研修会の実施」「消防団(水防団)員確保に向けたPR活動の実施」「重要水防箇所及び水防倉庫の巡視」等に取り組んでいる。
- 引き続き、現在の取組を推進していくとともに、過去に実施した取組についても、他の構成機関を参考に適宜見直しを行い、内容をより充実させていく。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○消防団(水防団)員への水防工法研修会の実施

出水時期を迎えるにあたり、消防団(水防団)員に対し、水防工法の講習会を行い、有事の際に現地ですぐに活動できるよう土嚢の作成方法や土嚢積工などを学んだ。



### ○消防団(水防団)員の水防演習への参加

令和4年9月の台風15号の被害を受け、水防対応の重要性を再認識していたところ、コロナ過に伴う活動制限の解除もあったことから、従来の手法による水防演習に参加し、各種水防工法の実演を行った。

従来方式による水防演習は4年ぶりであったが、水防工法研修会で学んだ水防工法が十分に発揮された演習となった。



### ○重要水防箇所及び水防倉庫の巡視

洪水発生時の迅速かつ的確な水防活動に備え、袋井土木事務所、太田川流域市町と合同で重要水防箇所と水防倉庫を巡視し、現況確認と資機材の数量等の点検を実施した。



### ○土のうステーションの設置

浸水常襲地区に土のうステーションを整備した。



取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難判断マニュアルの確認	避難判断マニュアルの更新 ホットライン体制の維持 等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	避難に関する意見交換会の実施 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の推進	要配慮者支援施設の管理者を対象とした防災情報等の提供及び理解促進 等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	想定最大規模降雨に対応した洪水ハザードマップの周知 中小河川に対応した洪水ハザードマップの作成 等	
	■ 自主防災体制の強化	3回(R5.4、R5.7、R5.10)の防災隊長会議における講和	自主(連合)防災隊長会議等における研修会の実施
	■ 水災害教育の充実	水害対策チラシ作成及び配布等(約33,000部)	出前講座・ワークショップの実施 防災ガイドブックの周知・更新等
	■ 避難行動を促す取組	登録制メール配信サービス登録者向上の取組み	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供 マイ・タイムラインの研修会の実施
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	登録制メール配信サービス登録者向上の取組み	登録制メール配信サービスの周知・啓発
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	消防(水防)団員確保の取組み	消防(水防)団員の確保に向けた広報活動・PRの実施等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	地域が有するポンプの性能検査の継続の実施	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	校庭貯留施設整備、準用河川改修(松橋川・油山川)	河川整備計画等に基づく着実な治水対策の推進
	■ 河川における機能の確保	浚渫工事の実施(5河川)	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全、河川管理の高度化の検討
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	土のうステーションの整備(1箇所)	土のうステーションの運営・整備
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策	立地適正化計画の見直しのための基礎調査実施	立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)、宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

●令和6年度の取組予定

■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

自らの地域は自らの手で守る！という気持ちで活動している消防(水防)団員の確保を行い、継続的な水防活動体制の持続を図るため、消防(水防)団員数増加の取組を実施してまいります。

- ・地元メディア等への出演によるPR活動
- ・ポスター等作成によるPR活動 など

■ 避難行動を促す取組(浸水実績等の周知)

住民自身の避難行動を促す取組として、過去の浸水実績図を整備し、住民や転入者が水害リスク情報を容易に取得できるよう、市ホームページへの掲載方法の改善や、アクセス性の向上に取り組んでまいります。

- 令和5年度は、出水期前に水防体制の強化を図る目的で実施している「水防訓練」、地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る目的で実施している「防災出前講座」、地域住民に確実かつ迅速な情報を提供するため「情報伝達手段の多元化」等に取り組んでいる。

## ● 主な取組内容(R5年度)

### ○ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

令和5年5月に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団との共同で水防訓練を実施。



土のう積み訓練



チェーンソー訓練

### ○ 避難行動を促す取組

防災出前講座を活用し、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図った。一部講座では、地域防災指導員が講師を行っている。



### ○ 円滑で確実な避難に資する情報発信

ウェブサイトや「防災ほっとメール」、湖西市公式LINEアカウントやTwitter、Facebookなどを活用し、災害情報を提供。

その他、防災ほっとメール登録者数拡大に向けた広報紙等による周知、啓発を実施。



### ○ 河川における機能の確保

市が管理する河川について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保した。



整備前



整備後

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	気象台と静岡県との連絡体制の確認を行った	ホットライン体制の構築及び検証、避難勧告等発令の判断・伝達マニュアルの検証等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	4月に自主防災会に対し説明会を実施し情報提供を行った	情報伝達手段の多元化・通信機器の更新、地域住民に確実かつ迅速な情報の提供等
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	防災研修会等への出席を働きかけた	確実な避難体制の確保のための避難確保計画に基づく避難訓練の実施等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	自主防災会等に対し、情報提供をした	防災出前講座を活用した水害危険性の周知促進
	■ 自主防災体制の強化	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	自主防災会が継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援
	■ 水災害教育の充実	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座を活用した水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築
	■ 避難行動を促す取組	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座等を活用した住民向け防災情報の説明会・訓練の充実
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	HPや防災ほっとメール、LINE、SNSなどを活用し災害情報を提供	避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	5月に地域の消防団と共同で水防訓練を実施	水防団員に対しての教育・訓練(水防工法の伝承、安全教育など)の実施等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	9月1日に情報伝達訓練で建設会社の保有するポンプの状況を確認	地域が有するポンプ等(消防や建設会社)の活用に向けた情報の整理と共有
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保	地元要望等により堆積土砂を確認した箇所を管理者へ報告	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		
■ 被害対象を減少させる対策			

●令和6年度の取組予定

■ 水防体制の強化を図る  
水害リスクの高まる出水期前に  
水防訓練を実施する



出水期前に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団が共同で水防訓練を継続して実施。

■ 地域の防災意識の向上を図る  
防災出前講座の更なる促進により、災害への備えを強化する



更なる防災意識の向上及び地域防災力の強化を図るため、地域防災指導員と連携した防災出前講座を継続して実施。

- 令和4年度は、「ハザードマップの周知」「出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発・作成支援」「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援」等に取り組んでいる。
- 今後は、関係機関との連携及び流域治水プロジェクトと連携した取組を継続実施していく。

## ● 主な取組内容(R5年度)

### ○ 令和5年6月 水防団との水防訓練を実施

令和5年6月に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、水防団と水防訓練を実施。



### ○ 出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発、作成支援

ハザードマップの周知による、自宅等の水害リスクを認識すると同時に、マイ・タイムラインの普及啓発・作成支援をし、住民の水害への防災意識の向上を図った。また、専門的な知識を持つ「防災士」と連携した普及啓発を実施。



ハザードマップ



マイ・タイムライン



住民への出前講座

### ○ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援

対象施設の避難確保計画作成率は100%であるため、計画に基づく訓練実施の周知。

対象施設からの避難確保計画見直し等の支援の実施。

### ○ 貯留施設の整備の検討

市南部地域の浸水対策として、黒沢川流域の校庭貯留施設及び農地への貯留施設を整備する計画を策定。



校庭貯留施設



農地への貯留施設

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難情報の判断・伝達マニュアルの見直しの実施	洪水対応演習への参加、「避難情報の判断・伝達マニュアル」の見直し等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン及び対応行動整理用表活用の実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・多言語化・方法について検討
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への啓発及び支援の実施	施設管理者への啓発・支援を実施
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの周知の実施	ハザードマップの周知・県管理河川の浸水想定図作成に伴う見直し、周知方法の検討
	■ 自主防災体制の強化	自主防災組織への出前講座の実施	出前講座等による周知啓発
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施及びハザードマップの配布	学校における防災教育、出前講座等を実施
	■ 避難行動を促す取組	マイ・タイムライン及び防災メールの普及啓発の実施	出前講座等によるマイ・タイムラインの推進、防災メール「茶こちゃんメール」の普及啓発
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線・防災メール・SNS等を活用した情報発信の実施	同報無線や防災メール「茶こちゃんメール」、SNSを活用した円滑な情報発信の実施
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	河川合同巡視への参加及び水防訓練の実施	重要水防箇所の合同巡視への参加、水防訓練の実施
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	消防で所持するポンプ車等の状況把握の実施	地域が有するポンプ等の活用に向けた状況把握を実施
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	貯留施設等の整備計画の策定	河川整備計画に基づいた治水対策及び要望活動を継続実施
	■ 河川における機能の確保	河川管理者との連携の実施	河川の状況把握及び河川管理者との適切な情報共有を実施
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	河川防災ステーションを水防活動拠点の活用の実施	水防活動拠点としての河川防災ステーションの活用
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策	各種対策の検討及び水災害リスクの情報発信の実施	有効な対策について検討及び計画の作成	

●令和6年度の取組予定

■避難行動を促す取組

マイ・タイムラインの推進のため、防災士と連携した出前講座等の実施

水害リスクの再認識と、早期の避難行動を図るための取組として、マイ・タイムラインの作成支援等の普及啓発を専門的な知識を持つ防災士と連携し、出前講座や学校教育等において実施する。



■水害リスク情報等の共有に向けた取組

水害リスクの周知促進のため、ハザードマップの周知及び県管理河川の浸水想定図作成に伴う周知の検討

令和3年3月に作成した想定最大規模のハザードマップの市民の認識度向上と、県による浸水想定図の作成に伴う周知を図るため、出前講座等での周知を行うと同時に市民からの意見を基に、効果的な周知方法の検討を行う。



- 令和5年度は、「水防団との風水害対策活動」「洪水ハザードマップの周知及び水防活動に関する講習会」「防災アプリの導入」等に取り組んでいる。
- 今後は、自治会と協力して検討を進め、日ごろからの水防対策や水防訓練に関して啓発を行っていく。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○水防団との風水害対策活動

台風や豪雨時の河川の氾濫に備えるため、市内に土のうステーションを2か所設置。

設置に伴う作業として、水防団である御前崎市消防団と土のう作成など風水害対策活動を実施。



### ○洪水ハザードマップの説明及び水防活動に関する講習会

地元の住民の水防意識の啓発と新規作成した、洪水ハザードマップの普及のために、洪水の浸水区域内の地域の住民を対象として、新野川のハザードマップの説明と水防に関する講習会を実施。次年度以降の水防活動の足掛かりと一般住民の意識啓発を図った。



### ○防災アプリの導入

災害時に確実かつ迅速な情報を提供するため、情報伝達に活用するアプリを導入した。

防災アプリでは、災害情報や同報無線放送の内容、避難所の情報など確認することができる。

今後、出前講座等で防災アプリの周知及び普及を図る。

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	連絡体制と発令基準の見直し	非常時の連絡体制や避難指示の発令基準についての見直し 等
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	マニュアルの修正	対応行動整理表やマニュアル等の見直し 等
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	訓練実施等に関する依頼	要配慮者施設で作成している避難計画の見直しや訓練の実施の推進 等
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	情報連絡体制の見直し	情報連絡体制の見直しや新たな連絡体制の構築について検討 等
	■ 自主防災体制の強化	関係自主防災会の水防体制の見直し	自主防災会との協議による、連携強化のため今後の水防体制の見直し 等
	■ 水災害教育の充実	防災学習での講義の実施	防災学習や防災に関する講演会などの開催を通して、水災害についての啓発 等
	■ 避難行動を促す取組	避難行動マニュアルの作成の推進	防災についての知識の取得の促進や避難行動についてのマニュアルなどの作成 等
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報発信方法の検討及び見直し	情報発信方法の見直しや御前崎市のSNSなどを活用した新規の情報発信方法について検討 等
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団向けの他市の水防訓練の見学会の実施	定期的な水防に関する勉強会や水防訓練の開催 等
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水に関する設備の検討や関係機関との排水計画に関する協議 等	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	河川計画に基づく治水対策の継続実施 等	
	■ 河川における機能の確保	協力体制の見直し	河川管理者との協力体制の見直しや市としての対応の検討 等
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策	指導員等と意見交換会を実施	指導員等と安全なまちづくりのための協議や検討 等	

●令和6年度の取組予定

■ 住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・普及活動の実施

令和5年度に導入した防災アプリについて、市HPやLINE等を活用し、市民への周知を図る。また、防災講座等での説明や資料等を配布し、情報を発信する。

■ 水防団に対しての教育・訓練(水防工法の伝承、安全教育など)の実施

実働を行う水防団との協議を進め、今後につながる実働的な水防訓練の協議を行うとともに、水防団として必要な知識の習得を目指して、視察や講習会の実施について検討を行う。

- 令和5年度は、自主防災会を中心とした防災連絡会や町職員を対象とした防災研修会を実施し、防災意識の高揚を図った。
- 町内の内水氾濫のリスクの高い箇所へ冠水センサーを設置し、住民に対する早期避難のための取組を行った。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○自主防災会を中心とした防災連絡会を実施

令和5年5月に自主防災会、学校関係者等を対象に防災連絡会を実施。自主防災会としての役割についての確認や、HUG訓練によりゲーム形式で避難所の運営についての習熟を図った。



防災連絡会  
(令和5年5月16日)

### ○町職員を対象とした防災研修会を実施

全職員を対象に令和5年5・6月の2回、県の危機管理指導参与による防災研修会を実施。

前年度の台風15号を教訓に、職員としての心構えや災害時の通報対応など、防災意識の高揚と発災時の対応について学んだ。



防災研修会  
(令和5年6月1日)

### ○町内への冠水センサーの設置

昨年度の台風15号による被害状況により、町内の内水氾濫リスクの高い3箇所に冠水センサーを設置。

内水氾濫等の事前情報の早期取得を図る。



●今後5カ年のロードマップ

項目	取組実績			取組予定			対象外		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度～	令和5年度	令和6年度	令和7年度～	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水・水害対応訓練の実施。避難発令マニュアルの見直し 等							
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	初動対応マニュアルの見直し 等							
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難計画の更新・訓練の干渉を実施	施設管理者への計画更新、訓練実施の推進 等						
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	監視カメラ等の要望実施	河川管理者への監視カメラ増設、適所設置の要望 等						
	■ 自主防災体制の強化	出前講座、防災連絡会等での講話を実施	水害リスクの高い地域等に対する情報提供、防災講座の実施 等						
	■ 水災害教育の充実	防災意識の高揚を図るための出前講座・職員研修会の実施	出前講座、セミナー、講習会の実施 等						
	■ 避難行動を促す取組	自主防災会への説明会を実施	自主防災会を対象とした説明会の実施 等						
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線・防災メール・SNS等を活用した情報発信の実施	ハザードマップ、防災ガイドブックの更新、マイタイムライン、わたしの避難計画の活用 等						
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団による他市の水防演習の参加・水防講習会の実施	水防団員に対するの教育・訓練の実施 等						
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水ポンプ導入の検討	排水ポンプの運用・管理 等						
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進								
	■ 河川における機能の確保	土砂撤去や樹木伐採を実施	河道掘削及び支障木竹の伐採実施						
	■ 施設能力を上回る洪水への対応								
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	冠水センサー設置の検討	土のうステーションの運営・管理						
■ 河川管理施設の整備等に関する事項									
■ 被害対象を減少させる対策									

●令和6年度の取組予定

■ 河道における機能の確保  
・河川の河道掘削の実施



■ 水防体制の強化に向けた取組

水防体制の強化と技術向上を図るため、出水期前に水防工法講習会を継続して実施する。



- 令和5年度は、「わたしの避難計画」の普及、防災アプリ「静岡県防災」による自主防災体制の強化、「ふじのくに防災士養成講座」の実施、気象防災WSの実施等に取り組んでいる。
- 今後、水害リスク情報の共有による確実な避難の確保に向け、支援方策を継続実施していく。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○「わたしの避難計画」の普及

- ・「わたしの避難計画」の普及を図るため、作り方動画の公開やポスターの掲示、啓発活動等を実施。
- ・「わたしの避難計画」を自力で作成できない方をサポートする「わたひな普及員」を養成する講座を実施し、更なる普及を促進。



啓発ポスター(ちらし)



地震防災強化月間での啓発  
(令和5年11月29日)



わたひな普及員養成講座  
(令和5年11月21日)

### ○「ふじのくに防災士養成講座」の実施

- ・防災に関する専門的知識を習得し、防災現場のリーダーとして活躍できる人材を養成するため、平成17年度から開講している。
- ・今年度は対面講座とオンライン講座を設定し、195人の修了者に知事認証を付与した。



令和5年度ふじのくに防災士養成講座Aコース  
(令和5年9月7日)



静岡県ふじのくに防災士認定証

### ○防災アプリ「静岡県防災」による自主防災体制の強化

- ・自主防と情報共有を図るための「見える化機能」の運用を開始した。
- ・防災カルテは、自主防災組織の点検及び現状把握を目的としている。
- ・災害状況投稿は、災害の情報や避難所の情報を自主防災組織からいち早く得ることを目的としている。



(防災カルテ)



(災害状況投稿)

### ○気象防災WSの実施

- 令和4年台風15号による風水害への対応において、様々な課題が見られたことから、今後の風水害に備えるために静岡地方気象台の協力を得て「気象防災ワークショップ」を開催し、風水害の際の体制強化のタイミングや避難の判断について勉強した。



(令和5年6月23日)

# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

静岡県 危機管理部・  
経営管理部 西部地域局

## ●今後5カ年のロードマップ

取組実績

取組予定

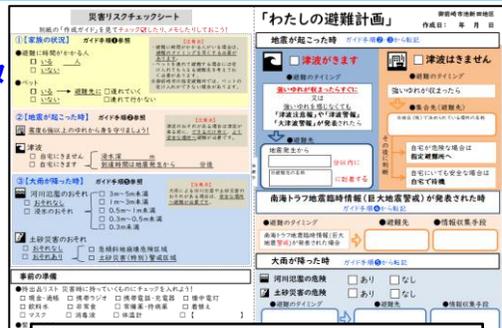
対象外

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン導入や検証に関する助言	タイムライン導入や検証に関する助言
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの作成・周知に関する助言	ハザードマップの作成・周知に関する助言
	■ 自主防災体制の強化	自主防と情報共有を図るための「見える化機能」の運用開始	自主防災組織へ被害状況集約システムや情報提供により活動支援
	■ 水災害教育の充実	「ふじのくに防災士」の養成	「ふじのくに防災士」の養成
	■ 避難行動を促す取組	「わたしの避難計画」サイト作成・研修会、「マイ・タイムライン」助言	「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」の普及
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	投稿機能の運用開始、情報発信	防災アプリ「静岡県防災」による情報発信
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
③河川管理施設の整備等に関する事項	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		
	■ 被害対象を減少させる対策		

## ●令和6年度の取組予定

■ 避難行動を促す取組  
「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」について引き続き普及を図っていく

市町と連携し引き続き普及を図っていく。また、普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、周知啓発を実施していく。



わたしの避難計画(御前崎市)の例

■ 避難行動を促す取組  
防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上

災害時に自主防災組織から被害状況を集約するシステムを導入する。また、避難所支援機能の普及やシステム改良により利便性の向上を図っていく。



防災アプリ「静岡県防災」

静岡県 健康福祉部

- 令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえ、本県の水災害対策の課題や今後取り組んでいく対策をまとめたレポート「新たなステージに入った水災害に対する取組」を公表した。
- 今後は、レポートに示した「重点対策(29項目)」をロードマップに従い重点的かつ緊急的に実施していく。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○レポート「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」の作成

- ・静岡県河川砂防局では、気候変動により新たなステージに入った水災害に対して、県内全域で展開する「流域治水」の取組を国や市町等の関係機関と連携して強力に推進するため、レポート「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」を作成し、令和6年2月に県ホームページにて公表した。
- ・今後は、レポートに示した、令和4年台風第15号や令和5年台風第2号による水災害への課題を踏まえ設定した「重点対策(29項目)」を重点的かつ緊急的に実施していく。

### 【重点対策(29項目)のうち、令和5年度に取り組んだ内容】

#### 対策12

#### 想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成・公表

洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図の作成により、住民に浸水リスクを周知するとともに、市町が作成するハザードマップへの反映を促していく。

#### ●令和5年8月～9月公表

浜松土木管内：  
水窪川ほか2河川

袋井土木管内：  
前川ほか20河川



#### ●作成中

浜松土木管内：  
43河川  
袋井土木管内：  
13河川

#### 対策22

#### 水災害リスクや「流域治水」に関するわかりやすい情報発信

- ・水災害リスク情報や避難方法等をテーマとした「事前に備える防災講座」をYouTube(ユーチューブ)で公開するとともに動画のQRコードを掲載したチラシを作成し、配架
- ・流域治水の広報等に用いる「筆文字ロゴ」を令和5年3月に作成。作成した「筆文字ロゴ」は、「ふじのくにオープンデータカタログ」に登録し、自由使用にするとともに、職員の名刺や関係資料等に掲示するなどしている。



- ★ 令和2年度から実施  
現在9本の動画を公開
- ★ 継続して動画を作成



# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

県 河川企画課

取組実績

取組予定

対象外

## ●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	県管理河川のダムの機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水予報河川、水位周知河川以外の中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・公表	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図の作成 等
	■ 自主防災体制の強化		
	■ 水災害教育の充実	「事前に備える防災講座」の動画を作成し、YouTubeで公開	効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、浸水リスクを周知するための啓発資料の作成・活用
	■ 避難行動を促す取組	「事前に備える防災講座」としてマイタイムラインを紹介する動画をYouTubeで公開	マイ・タイムラインの推進
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信		
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全 等
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	太田川ダムの事前放流運用に伴うダム操作細則を一部改正	ダムの柔軟な運用	
■ 被害対象を減少させる対策		宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

## ●令和6年度の取組予定

### ■新たなステージに入った水災害に対する取組の実施

・令和6年2月に公表したレポート「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」に基づき、対策を着実に実施する。  
 ・令和6年は七夕豪雨から50年の節目であるため、七夕豪雨の記憶を次世代に伝え、これからの水災害対策について考える「(仮称)七夕豪雨50年記念シンポジウム」を開催するとともに、各土木事務所において関連行事を開催するなど、1年を通して、流域治水の認知度向上等を図るための取組を実施する。

- 「事前に備える防災講座」の作成・周知・活用  
YouTube動画の充実、出前講座等での周知・活用
- 市町防災職員向けの研修会・意見交換会の開催
- 水害危険性の周知促進(浸水ナビや静岡県GISに浸水想定区域の情報を掲載 等)
- マイ・タイムラインの推進 等

- 令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえ、本県の水災害対策の課題や今後取り組んでいく対策をまとめたレポート「新たなステージに入った水災害に対する取組」を公表した。
- 今後は、レポートに示した「重点対策(29項目)」をロードマップに従い重点的かつ緊急的に実施していく。
- 引き続き、当課対象の取組を継続するとともに、関係機関との連携を図り、支援方を継続実施していく。

## ● 主な取組内容(R5年度)

### ○レポート「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」の作成

- ・静岡県河川砂防局では、気候変動により新たなステージに入った水災害に対して、県内全域で展開する「流域治水」の取組を国や市町等の関係機関と連携して強力に推進するため、レポート「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」を作成し、令和6年2月に県ホームページにて公表した。
- ・今後は、レポートに示した、令和4年台風第15号や令和5年台風第2号による水災害への課題を踏まえ設定した「重点対策(29項目)」を重点的かつ緊急的に実施していく。

### ○ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実

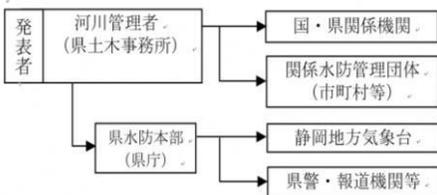
出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全に期すことを目的に、県管理河川を対象とする洪水対応演習を実施した。

#### 【訓練実施日時】

令和5年5月31日

8時30分から16時30分

#### 【情報伝達系統】



(県水防本部：訓練状況)

### ○円滑で確実な避難に資する情報発信

新たなステージに入った豪雨に対し、どのような情報発信を行う事で、有用な情報を地域住民に発信できるか等を検討するため、県内各局の気象キャスター等と意見効果会を実施した。

#### 【実施日】

令和5年12月22日

#### 【参加者：18名】

県内報道機関  
(気象キャスター等)  
静岡県  
危機管理部  
交通基盤部



取組実績

取組予定

対象外

### ●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習実施	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	支援体制継続	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	説明会等を実施	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援(説明会等)
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	観測データ蓄積、保守点検実施	危機管理型水位計・河川監視用カメラ等の設置検討、見直し、適切な保守点検を実施
	■ 自主防災体制の強化	重要水防箇所等を水防計画書及び県GISにて公表	水害リスクが高い区間などに関する情報提供と説明会の開催
	■ 水災害教育の充実	県庁見学会を実施	浸水リスクを周知するための啓発資料の作成、既存資料の更新
	■ 避難行動を促す取組	SIPOSにて、雨量・水位等のリアルタイム情報の提供を継続	県庁見学会等を活用し、住民向けの防災情報の提供
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報発信の在り方について、気象キャスター等との意見交換会	意見交換会の継続実施、住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団の活動実績等の県HPへの掲載(森町)	水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	建設会社等のポンプの保有数を集計し、共有	地域が有するポンプ等(建設会社等)の活用に向けた情報の整理と共有
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	正確な水位等の情報を関係機関と提供、保守点検実施	円滑な水防活動のため橋梁等への簡易水位計・量水標の設置検討、適切な保守点検を実施
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策		宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

### ●令和6年度の取組予定

#### ■ 水災害教育の充実、避難行動を促す取組

- ・県庁見学会等を活用し、水害リスクや情報の入手方法等を説明する。
- ・Webを活用した、啓発動画の作成、更新を行う。



(令和5年度県庁見学会の様子:土木防災情報センター)

#### ■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援として、避難確保計画の作成に至る経緯、必要性、訓練実施等について、市町関係職員等に説明会を実施する。(コロナ禍におけるWebを活用した動画配信)
- ・市町が施設管理者等へ説明会を実施する際に、水害リスク情報について説明する講師として職員の派遣し支援する。

- 令和5年度は、出前講座を開催し、過去の水害、洪水時のリスク、流域治水の取組等を学び、児童自らが水害に対し「自分ができること」を考えるきっかけづくりに取り組んだ。
- 令和4年台風第15号等の経験を踏まえ、水害時の水防業務を遅滞なく行うよう、管理河川の破堤を想定したタイムラインに基づくシナリオ読み上げ訓練を実施し、水防業務の手順等を確認した。

## ● 主な取組内容(R5年度)

### ○ 学校と連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の取組

小中学校の出前講座の要請を受け、学校側と相談しながら講座内容を検討し、リスクコミュニケーションを行った。



笠井小学校出前講座 (R5.11.15)



平山小学校出前講座 (R5.11.20)

### ○ 管理河川の破堤を想定したシナリオ読み上げ訓練を実施

土木技術幹部職員からなる水防班長と、主に事務系幹部職員からなる水防副班長を対象に訓練を実施した。



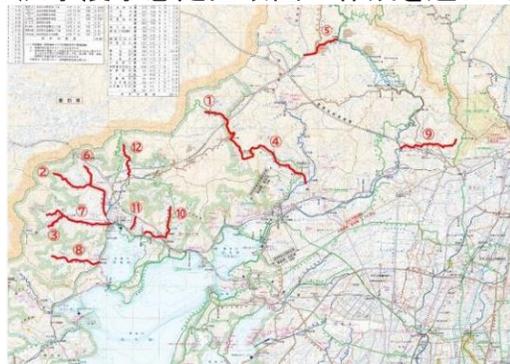
水防班長訓練 (R5.5.22)



水防副班長訓練 (R5.5.26)

### ○ 水防法河川以外の洪水浸水想定区域図の作成

水害リスクの空白域の解消に向け、洪水予報河川や水位周知河川以外の河川の洪水浸水想定区域図の作成を進めた。



### ○ 民間企業の避難計画の作成支援

安間川流域の民間企業の依頼を受け、避難計画策定に必要となる河川の出水特性や想定される浸水リスク等を情報提供した。



安間川流域の民間企業との打合せ (R5.10.10)

※R5年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定			対象外		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度～	令和5年度	令和6年度	令和7年度～	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習等を実施	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実							
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	台風15号等を踏まえた検証を実施	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証、職員のうち誰もが水害対応できるチェックリストの作成							
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者等への理解促進								
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	河川監視用カメラ1基を整備	危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画の整備及び見直しの実施、水害危険性の周知促進							
	■ 自主防災体制の強化									
	■ 水災害教育の充実	出前講座を実施	学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築							
	■ 避難行動を促す取組	出前講座を実施	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供、出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実							
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	SNSの活用、SIPOS広報チラシの配布	水害時の情報入手のしやすさ・分かりやすさを支援するための広報活動の実施								
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の充実の検討								
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施								
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	堀留川水門等の整備を実施	河川整備計画等に基づく治水対策の着実な推進							
	■ 河川における機能の確保	気田川等で河道掘削を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全							
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	粘り強い堤防化の推進 等								
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	円滑な水防活動のため橋脚等への簡易水位計・量水標設置								
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	都田川ダム事前放流に係る伝達様式等の整理	ダムの柔軟な運用							
	■ 被害対象を減少させる対策	出前講座を実施	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等)							

●令和6年度取組予定

■水災害教育の充実

「伝わる」ことに主眼を置いた出前講座の開催

- ・小中学校からの出前講座の要請を受け、企画段階から参加者の意向等を確認し、「伝わる」講座内容を提案する。
- ・「防災カードゲーム」等のツールを活用し、受講者が家庭や地域に「伝え」、水災害教育の普及が進むよう工夫する。



■確実な避難指示の発令に向けた取組

中小河川破堤対応のシナリオ読み上げ訓練を実施

- ・令和4年度の水防対応等を踏まえ検討したタイムラインに基づくシナリオ読み上げ訓練を実施する。
- ・出水期前に、管内市等の関係機関との連携を確認し、水害時に遅滞なく水防業務を行う。



- 令和5年度は令和4年の台風15号等を踏まえ、袋井市や磐田市の住民や水防団員などとのワークショップ等を実施し、住民の避難に資する情報として活用できる監視カメラを設置した。
- 近年の台風の際に明らかになった課題に対し、有事に備え、水防資機材をストックするヤードを整備し、応急復旧に早急に活用できる備蓄を進める。

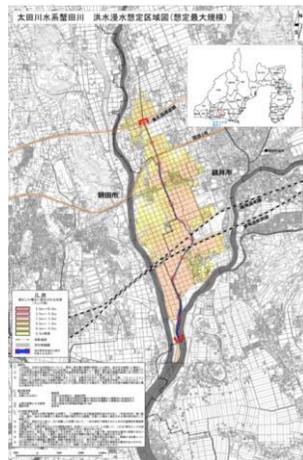
## ●主な取組内容(R5年度)

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 想定最大規模の洪水に係る  
浸水想定区域図等の作成

#### 【実施内容】

- ・「蟹田川など洪水浸水想定区域図」を公表  
(管内 4水系20河川)【R5.8.31】
- ・「中沢川など洪水浸水想定区域図」を公表予定  
(管内 3水系12河川)【R6.3末予定】



太田川水系蟹田川洪水浸水想定区域図  
(R5.8.31公表)

### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

- 水防訓練の参加

#### 【実施内容】

- ・管内市町が実施する水防演習に参加。  
訓練を通じて関係機関との連携を密にし、水防体制強化を目的とした。  
また、若手職員が水防実務に関する現場体験の貴重な機会として、訓練に参加。



R5.5.28 磐田市水防演習

### ○避難行動を促す取組

- 河川監視カメラの設置

#### 【実施内容】

- ・令和4年度の台風15号等を踏まえ、袋井市や磐田市の住民や水防団員などとのワークショップ等を実施し、住民の避難に資する情報として活用できる監視カメラを新たに4基設置。



【施工事例】(二)敷地川〔袋井市大谷〕

### ○被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 水防資材ストックヤードの整備

#### 【実施内容】

- ・令和4年台風15号及び令和5年台風2号の際に明らかになった課題に対し、有事に備え、水防資機材をストックするヤードを整備し、応急復旧に早急に活用できる備蓄を進める。



ストックヤード整備予定地(磐田市明ヶ島)

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和5年度	令和6年度	令和7年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習の実施	洪水対応演習・ホットライン訓練実施 等		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定		必要に応じた情報通信機器の更新、避難マニュアル等の見直し支援 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		施設管理者への説明会を適宜支援 等		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図の作成等		必要に応じた市町へのリエゾン派遣 等	
	■ 自主防災体制の強化				
	■ 水災害教育の充実	出前講座の実施 等		出前講座の継続実施 等	
	■ 避難行動を促す取組	監視カメラの設置		サイボスレーダーを活用した雨量・水位に係るリアルタイム情報の提供 等	
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信		サイボスレーダーの周知・普及 等		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加		重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			災害協定を締結する協力業者に対する保有機材調査及び管内市町への情報共有 等	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	治水対策の加速化		河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等	
	■ 河川における機能の確保	河道掘削等の実施		河道掘削、樹木伐採等による河川流下能力の確保	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	堤防舗装工事等の実施		粘り強い堤防化の推進 等	
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水防資材ストックヤードの整備		危機管理型水位計の設置 等	
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			事前放流の実施をはじめとする太田川ダム柔軟な運用 等	
	■ 被害対象を減少させる対策	LP測量による土砂災害警戒区域の新規抽出		LP測量による土砂災害警戒区域の新規抽出 等	

●令和6年度取組予定

■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進

河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施。令和4年9月台風15号及び令和5年6月台風2号で被災を受けた敷地川等において、関係機関から構成する流域治水対策推進協議会を設置し、「流域治水」を強力に推進していきます。



敷地川流域治水推進対策協議会 (R5.12.25)

■水災害教育の充実  
出前講座の実施

学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築を行っていきます。



今井小学校\_出前講座開催状況(R3.6.7)

- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で公開
- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施
- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施
- ダムの機能や効果、操作に関する情報周知

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供

- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で公開(R3全ダム公開済)している。

ダム名	貯水量	全容量	貯水量	全容量	貯水量	全容量
佐久間ダム	263,439m³	1,000,000m³	263,439m³	1,000,000m³	263,439m³	1,000,000m³
水窪ダム	52,350m³	200,000m³	52,350m³	200,000m³	52,350m³	200,000m³
秋葉ダム	306,379m³	1,000,000m³	306,379m³	1,000,000m³	306,379m³	1,000,000m³
船明ダム	125,894m³	500,000m³	125,894m³	500,000m³	125,894m³	500,000m³
龍田ダム	15,460m³	60,000m³	15,460m³	60,000m³	15,460m³	60,000m³
龍田水門	6,289m³	20,000m³	6,289m³	20,000m³	6,289m³	20,000m³
水窪水門	5,844m³	20,000m³	5,844m³	20,000m³	5,844m³	20,000m³
水窪水門	495,369m³	1,000,000m³	495,369m³	1,000,000m³	495,369m³	1,000,000m³

### ○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施した。

<令和5年度実績>

実施日: 令和5年5月18日

参加者: 龍山協働センター、地元住民、J-POWERグループ社員



(西川地区防災訓練)

### ○ダムの柔軟な運用への協力

- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施した。(2023年6月台風2号対応等)

### ○ダムの機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知

- 天竜川水系ダム放流説明会を実施(WEB)した。内容はダム設備概要、ダム放流の概要を説明し、ダム放流時の連絡先等を関係機関に周知した。

<令和5年度実績>

実施日: 令和5年8月3日

出席者: 国道交通省中部地方整備局、浜松市、磐田市、浜松市消防局、磐田市消防署、静岡県企業局西部事務所

取組実績

取組予定

対象外

●今後5カ年のロードマップ

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供(天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開(継続))	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供(天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開(継続)) ダムの機能や効果、操作に関する情報周知(天竜川水系ダム放流説明会の開催(2年に1回))
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組		
	■ 自主防災体制の強化		
	■ 水災害教育の充実		
	■ 避難行動を促す取組		
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	関係機関が連携した実働防災訓練の実施(西川地区防災訓練の開催(毎年))	関係機関が連携した実働防災訓練の実施(西川地区防災訓練の開催(毎年))
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		
	■ 河川における機能の確保		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	ダムの柔軟な運用への協力(天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用)	ダムの柔軟な運用への協力(天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用)
■ 被害対象を減少させる対策			

●令和6年度の取組予定

■ダムの柔軟な運用への協力(継続)

- ・国土交通省が設置する天竜川水系(下流)洪水機能調節協議会に参画する。
- ・出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施する。

■関係機関が連携した実働水防訓練の実施(継続)

- ・関係機関と連携し、大規模出水を想定した西川地区の増水対策として防水門扉および排水設備の訓練を実施する。



西川地区防災訓練

- 重要施設(自動車学校前変電所)の浸水対策の実施
- 効率的な運行システムの導入

## ● 主な取組内容(R5年度)

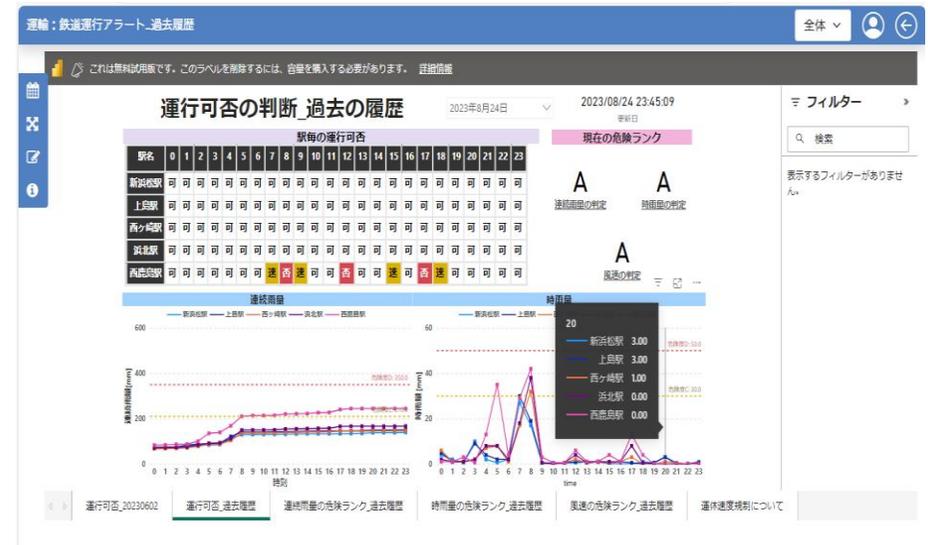
### ○ 重要施設の浸水対策の検討

2022年9月23日に発生した台風15号による大雨により、自動車学校前変電所内に雨水が浸入した。この事象を受けてR5年度に自動車学校前変電所に浸水対策を実施した。



### ○ 効率的な運行システムの導入

- 運行の判断をより効率的に実施できるよう、(従来の人力による気象情報確認と運行可否の判断から、)気象情報会社よりデータを手し、そのデータを自社の基準に照らし合わせて、拠点ごとに運行の可否を判定するシステムを導入した。
- 導入したシステムやR4年度の経験を活かし今年度の洪水時(R5.8.24洪水など)には、スムーズに運行判断を実施することが出来た。
- 今後も、今までの経験などを活かしてブラッシュアップしていく予定である。



※R5年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	各駅周辺の避難場所(自治体設定)の把握	HPIに自治体避難情報のURL掲載を検討	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等配布の実施	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等を活用し、駅構内スペース等での掲示・配布を予定	
	■ 避難行動を促す取組			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	重要施設の浸水対策の実施	河川の氾濫が発生した場合にも浸水に耐えられるよう施設の整備の実施	
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和6年度の取組予定

■重要施設の浸水対策の実施

2022年9月23日に発生した台風15号による大雨により、自動車学校前変電所内に雨水が浸入した。  
この事象を受けてR5年度に自動車学校前変電所に浸水対策を実施した。  
R6年度はその他の施設についても継続的に対策を実施していく予定。

■各駅周辺の避難場所(自治体設定)の把握

HPIに自治体避難情報のURL掲載を検討する。

■減災協議会パンフレット等配布の実施

駅構内スペースでの配布を予定。

- 大雨時の運行状況や運行計画をHPやTwitterで配信している。
- 台風の影響などにより、計画運休を実施する際には、事前に駅に掲示物を掲載する他、沿線の役所や学校等に電話連絡を実施している。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○重要施設の浸水対策の実施

- ・ 施設の更新等に合わせて、分岐のポイントなどの防水化や設置箇所のかさ上げ等を実施
- ・ 車両基地の浸水被害が予測される場合の避難等の手順を定める「車両基地浸水被害対策計画」を制定済み、改定等が必要か検討している。
- ・ 線路法面のコンクリート補強や線路脇の排水溝の浚渫や改良を進め、線路面の浸水を防いでいる。

### ○確実かつ迅速な情報の提供と地域住民との情報共有

- ・ 「重ねるハザードマップ」、「浸水ナビ」のリンク先をHPに掲載。(R4.12)
- ・ 大雨時の運行状況や今後の運行計画等をHPやTwitterで公開。(継続)
- ・ 駅員のいない駅では、有人駅からの遠隔放送にて列車の運行状況などをご案内している。(継続)  
※無人駅には遠隔放送できる体制を構築済。
- ・ 令和5年6月の洪水時や台風の影響などにより、計画運休を実施する際には、駅に掲示物を掲載する他、沿線の学校に電話連絡を実施。

●今後5カ年のロードマップ

取組実績 → 取組予定 → 対象外

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	重要施設の浸水対策、大雨時の運行状況をHPやTwitterで公開、計画運休時に沿線学校と情報共有		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			
	■ 自主防災体制の強化			
	■ 水災害教育の充実	減災協議会のパンフレットやハザードマップ等を活用し、駅構内スペースで掲示・配布	浸水リスクの周知など、その他の減災に役立つ情報発信について、関係機関と連携し検討を進める。	
	■ 避難行動を促す取組			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信			
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策				

●令和6年度の取組予定

■ 列車の運行に関する情報をわかりやすく発信

- ・ 災害発生時等の運行状況・復旧見込など、お客様への情報発信をより正確に、早く発信できるよう研究を進めていく。
- ・ 軌道やその他設備の保守・更新等を進め安定した列車の運行ができるように進めていく。

■ 確実かつ迅速な情報の提供と地域住民との情報共有

- ・ 駅の掲示板にその駅を中心とした浸水リスクを確認できる「重ねるハザードマップ」のQRコードの掲示を進めていく。

駅掲示のQRコード

重ねるハザードマップ

日頃ご利用いただいている駅周辺の災害リスク情報を確認しましょう。

掛川駅



ご自身の駅名検索して確認！



天竜浜名湖鉄道株式会社

- 令和5年度は、学校や自治体に対し、防災ワークショップや出前講座を実施している。
- 今後も、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方策を継続実施していく。

## ● 主な取組内容(R5年度)

### ○ 大雨ワークショップや出前講座の実施

大雨時の気象情報の使い方などについて、中学校や一般の方を対象に大雨ワークショップ、小学校向けに出前講座を実施している。



### ○ 防災ワークショップや出前講座の実施

自治体の防災担当者を対象に、防災ワークショップや出前講座を実施している。



### ○ 要配慮者施設セニアカーを活用した避難訓練

要配慮者施設「デイサービスセンター砂丘荘」にてセニアカーを活用した避難訓練を実施した。



●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への説明会を適宜実施 等	施設管理者への説明会を適宜実施 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	気象庁HPの改善 等	気象庁HPの改善 等	
	■ 自主防災体制の強化	自主防災組織への説明会を適宜実施 等	自主防災組織への説明会を適宜実施 等	
	■ 水災害教育の充実	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等	
	■ 避難行動を促す取組	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加 等	水防訓練への参加 等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組			
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進			
	■ 河川における機能の確保			
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
	■ 被害対象を減少させる対策			

●令和6年度の取組予定

■自治体の防災担当者の支援

・自治体の防災担当者は、防災担当が初めてという職員も多いため、気象情報の利活用や、防災対応の習得を目指すため、防災ワークショップを実施する。



■学校防災の支援

・中学校では生徒に大雨ワークショップ、小学校では先生を対象に、出前講座を実施。気象情報の意味や入手方法、ハザードマップの見方などを啓発することで、生徒の自助行動に繋げる。



- 令和5年度は、「重要水防箇所の合同巡視」、「要配慮者施設における避難訓練支援」、「流域一体型タイムライン作成に向けた意見交換会」、「流域住民の防災減災知識の普及啓発活動」等に取り組んだ。
- 今後、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方策を継続実施していく。

## ●主な取組内容(R5年度)

### ○天竜川・菊川重要水防箇所の合同巡視

洪水時の迅速な水防活動に資する情報を共有するため、国土交通省 浜松河川国道事務所では、菊川流域の自治体職員や消防団員、防災エキスパートと共に、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所（重要水防箇所）の合同巡視を実施した。



天竜川・菊川重要水防箇所の合同巡視  
（令和5年4月27,28日、5月18,19日）

### ○要配慮者施設におけるセニアカーを活用した避難訓練を実施

「要配慮者避難確保計画作成・訓練実施」の取組について、計画内容の精査と発災時における実効性向上が課題となっているため、課題解決に向けて、要配慮者施設におけるセニアカーを活用した避難行動の有効性や課題を把握することを目的とした避難訓練を、スズキ株式会社、デイサービスセンター砂丘荘のご協力により実施した。



セニアカーを活用した避難訓練  
（令和5年11月13日）

### ○流域一体型タイムライン作成に向けた意見交換会等を実施

天竜川下流域と菊川流域の関係機関の防災担当者が集結し、大雨時の対応行動の確認と顔の見える関係構築を実施した。

各流域の浸水特性などを関係機関で再確認した上で、令和5年台風第2号の対応行動を振り返りつつ、実務者にとって使い易く実行性のある域一体型タイムラインに係る防災行動等について意見交換を実施した。



流域一体型タイムライン意見交換会  
（令和5年12月7日）

### ○流域住民の防災減災知識の普及啓発活動を実施

流域治水の重要性や防災・減災の普及啓発などを目的に、株式会社静岡新聞社と連携し、新聞媒体を活用した地域住民への情報発信を実施した。

新聞記事には、静岡県西部・中東遠地域での水防災や流域治水への民間企業の参入・連携などについて、スズキ株式会社、株式会社静岡新聞社と3者会談した内容を掲載した。



流域治水などへの民間企業の参入・連携に向けた3者会談  
（令和6年1月31日）

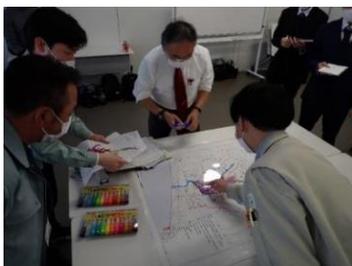
●今後5カ年のロードマップ

項目		令和5年度	取組実績	取組予定	対象外
			令和6年度	令和7年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習による、ホットライン確認の実施 等	洪水対応演習・ホットライン訓練実施、発令基準を適宜見直し 等		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	対応行動整理表に関する勉強会実施 等	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の周知 等	施設管理者への説明会を適宜支援及び実施 等		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	対応行動整理表に関する勉強会実施 等	危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画を適宜見直し 等		
	■ 自主防災体制の強化	2023年4～5月に重要水防箇所巡視を実施	引き続き水害リスクが高い区間等に関する情報の提供と説明会を実施 等		
	■ 水災害教育の充実	2023年4月に、中学校で水害教育の出前講座実施 等	出前講座・セミナーの開催 等		
	■ 避難行動を促す取組	マイ・タイムライン検討ツール(逃げキッド)の説明実施 等	防災に関する知識の習得や防災に関する啓発活動や防災教育などに活用できる資料作成支援 等		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	西部中東遠地域減災協議会の取組紹介パンフレットを配布 2023年4～5月に重要水防箇所巡視を実施	主旨が伝わりやすい情報提供の促進や情報の入手に関する広報誌等の作成・配布 等		
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組		重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	必要に応じて排水作業準備計画の見直しを実施	必要に応じて排水作業準備計画の見直し、地域が有するポンプ等の情報把握 等		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	浸水被害軽減地区の検討を必要に応じて実施	河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等		
	■ 河川における機能の確保	自治体への、河川管理の高度化の検討に関する資料の共有	河道内土砂掘削及び樹木伐採実施、国が実施するプロジェクトの情報収集及び関係機関への情報提供 等		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	危機管理型ハード対策の検討の継続実施	ハード対策の継続実施		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	2023年6月に堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施	河川防災ステーションの整備、水位等の情報を関係機関と共有するための施設整備 等		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項	利水ダムを含めたダムの洪水調節機能強化検討	ダムの洪水調節機能強化のため治水協定締結及び実施要領策定			
■ 被害対象を減少させる対策	被害対象を減少させるための支援	被害対象を減少させるための支援を継続実施する。			

●令和6年度の取組予定

■ 広域避難の検討ワークショップの実施

確実な避難指示の発令や避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定の取組として、関係機関での現状把握およびリスクの認識、広域避難に関する課題および対策や今後の方向性について議論するワークショップを実施予定です。



広域避難の検討ワークショップ

■ 企業BCP作成支援勉強会の実施

避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定支援の取組として、浜松商工会議所と浜松河川国道事務所の協働で、商工会議所所属企業を対象に、企業BCP(水害版)作成勉強会を実施予定です。



企業BCP作成支援勉強会